

## Ⅱ 2015（平成 27）年度「大学院生による教育評価アンケート」実施報告

### 1. 実施目的

今後の教育内容の改善、また充実した教育プログラムの維持・構築に役立てることを目的とする。本学大学院の教育の質的向上を目指して、全学的規模で「大学院生による教育評価アンケート」を実施した。

### 2. 実施方法

#### 1) 実施期間

2015（平成 27）年 12 月 10 日(木)～2016（平成 28）年 2 月 9 日(火)に実施した。

#### 2) 調査対象者

調査対象者：全研究科の大学院生

#### 3) 在籍者数・回収数・回収率

研究科	専攻科	在籍者数 (名)	回答者数 (名)	回答率
人間文化研究科	応用英語専攻	2	0	0.0%
	人間文化専攻	3	3	100.0%
	生活福祉文化専攻	4	3	75.0%
	研究科計	9	6	66.7%
心理学研究科	発達・学校心理学専攻	3	3	100.0%
	臨床心理学専攻	14	10	71.4%
	研究科計	17	13	76.5%
計		26	19	73.1%

#### 4) 調査内容

最初に、回答者の属性（学年・所属研究科（専攻））を尋ね、次に当該科目に関する以下の項目について尋ねた。設問は選択式 10 問、自由記述 2 問であった。

#### 調査項目

##### (1) 評価項目

選択式

- ① 学位取得のための道筋が明確に示されている
- ② 提示されたカリキュラムは納得のいくものである
- ③ 授業時間割はバランスよく配置されている
- ④ 提供される科目の授業内容が明確に示されている
- ⑤ 個々の授業はシラバスに準拠して、適切に進められている

- ⑥ 研究を進めていく上で、必要な指導教員が適切に配置されている
- ⑦ オフィスアワー等、大学院生活を送る上で、教員に相談できる制度が整っている
- ⑧ 研究科（専攻）、あるいは大学に、研究を進めていく上で、必要な図書、関連資料が用意されている
- ⑨ 自習室、研究設備等、学内の学習環境は十分に整備されている
- ⑩ キャリア形成に関して、適切な指導、相談が行われている

#### 自由記述

- あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「よかった点」を記入してください。
- あなたが所属する研究科（専攻）の教育内容全体について「改善すべき点」を記入してください。

#### (2) 回答形式

選択式設問①～⑩については、以下の5件法で回答させた。

- 5：そう思う
- 4：どちらかと言えばそう思う
- 3：どちらとも言えない
- 2：どちらかと言えばそう思わない
- 1：そう思わない

### 5) 実施手順

人間文化研究科応用英語専攻では、調査票を指導教員が大学院生に個別に配付した。人間文化専攻は、「文化学研究実践論」発表会（修士論文構想発表会）および修士論文研究成果発表会において配付した。生活福祉文化専攻は、M1、M2ともに修士論文発表会において配付した。心理学研究科は、修士論文発表会時に配付した。

回収は、各大学院生が教務部学事課に提出した。

### 6) 結果の集計

調査票の印刷・封入作業および集計処理は、株式会社教育ソフトウェアに依頼した。

### 7) 教員への結果通知と集計結果の配布

2016（平成28）年3月9日（水）の全学FD教員研修会において、全学および、研究科／専攻ごとの集計結果を専任教員に配付した。